

陳情第 5 号

障害者等の医療費助成制度の現物給付（窓口無料）を 意見書として鹿児島県に求める陳情



霧島市議会 議長 下深迫 孝二 殿

黒木理恵子 霧島市

障害者等の医療費助成の現物給付（窓口無料）を

求めるかごしまの会

共同代表 所崎治代

鹿児島市川上町

陳 情 要 旨

障害のある私たちの暮らしは、今、年々厳しさを増してきています。現在の医療費償還払いでは、翌月に医療費が戻ってくるものの立て替えるお金が手元にないと病院に行けません。だんだん病院行きを先延ばししているうちに重篤になった人もいます。軽いうちに病院に行っていたら入院することはなく、医療費の抑制にもつながったはずです。

また子どもさん連れの方は診察の支払いを済ます間、薬局に移動する間、とても一人で対応するのは厳しく、他にも付き添う人の協力を得ないと病院には行けない状況もみられます。申請手続き自体も重なり、障害児の場合も保護者の負担が増えています。

29都道府県が立て替え払いのない現物給付（窓口無料）を実施しています。ぜひ鹿児島県においても、現物給付（窓口無料）を実現していただきますよう意見書の提出を求めるものです。

陳 情 事 項

- 1 障害者等の医療費助成制度（公費負担事業）の現物給付化（窓口無料）を鹿児島県に求める意見書を提出すること。

障害者等の医療費助成制度の現物給付（窓口無料）を求める意見書（案）

障害のある人々の暮らしは今、年々厳しさを増してきています。そして、この秋から消費税も上がります。現在の医療費償還払いでは、申請するのに医療機関で手数料を取られますが、この手数料も上がるでしょう。翌月に医療費が戻ってくるものの、立て替えるお金が手元にないと病院には行けません。だんだん病院行きを先延ばししているうちに重篤になった人もいます。軽いうちに病院に行っていたら入院することはなく、医療費の抑制にもつながったはずで

す。
また診察の支払いを済ます間、薬局に移動する間、子どもさんを連れた親御さんらは一人では窓口の対応をするのは厳しく、他に付き添う人の協力を得ないと病院には行けない状況もみうけられ、保護者の負担は並大抵ではありません。現物給付（窓口無料）になったら、医療費の増加に繋がると危惧されるご意見もあるようですが、交通費もかさむのでむやみに病院には行きたくても行かない状況です。

なお、担当する市町村の窓口業務も大きな負担になっているはずです。29都道府県が立て替え払いのない現物給付（窓口無料）を実施しています。

上記のような実情に配慮し、ぜひ鹿児島県においても障害者等の医療費助成制度の現物給付（窓口無料）を実現していただきますよう強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和 年 月 日

鹿児島県

殿

鹿児島県霧島市議会議長